

教育委員会だより

伊与喜小学校

心豊かに学び、共に学ぶ
ことに喜びを感じる子に

校長 谷口 登志

地域と共に

自然に囲まれた温かい地域の中で育っている本校の子どもたち、心豊かにまた仲間とともに学ぶことに喜びを感じるよう、「わかる授業」や「個に応じた指導」「関わりを大切にした授業」を行っています。



5・6年生児童

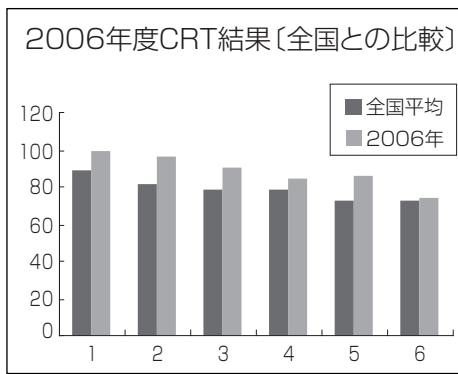
家庭や地域との連携を大切に、地域の学校となるよう全教職員で頑張っています。

児童の実態

今年度の本校は、児童数20人、複式3学級です。子ども

たちは、素朴で明るく、さまざまな場面で「力」を見せてくれます。

その一つが、毎朝のマラソンです。暑い日も寒い日も継続して走ることで、体力はもちろん「忍耐力」、「頑張り抜く力」がつけます。これが、学習態度として表れます。



右のグラフは、昨年度のCRT（到達度把握検査）「算数科」の結果です。すべての学年が全国平均を上回っており、「国語科」も同じような満足できる結果でした。もちろん普段の学習状態から、数学的な処理の弱さや学んだことを

生活に生かすことができているなど、課題もあります。

学習環境を整え

学校においては、教師が子どもたちを伸ばし、育てる学習環境そのものであるという意識を持って、積極的に「授業力向上」や「人間性」を高める努力を行っています。優しさも、かしこさも、見て感じて、身につけることができますように…。

研究授業の実施

一学期に全学級での研究授業が行われました。外部講師も招き、また、時には子どもだけでなく、保護者の感想（授業評価）もいただき、授業改善に取り組んでいきます。また、本校は常に少人数で



1・2年生の研究授業の様子

の学習ではありませんが、学校でこその「グループ学習」や「とも学び」などを大切に、コミュニケーション能力を高めるようにしています。



自分の考えを書き、自分たちで話し合います。

学習内容をしっかり身につけるだけでなく、自分たちで課題解決する方法も学びます。そして、「できた」「わかった」ことを喜び合える場を設定します。

感謝の気持ちを子どもたちと…

何を行っても、保護者やおじいちゃん、おばあちゃん、地域の協力がすごいです。



地域で毎朝、登校中の子どもたちを見守って下さる方がいます。こうした活動についても感謝しています。

豊かな体験活動を

実際に体験することで、学ぶ面は非常に多いです。

全学年で、田植えを行いました。



体験実施に向けて、常に協力いただき、感謝しています。これからも、伊与喜小学校へのご支援など、よろしくお願いします。

本校の取り組みを一部紹介いたしました。

伊田小学校

地域に根ざす教育の推進

校長 山崎 祥正

はじめに

本校は、目の前に太平洋が広がり、教室から海が望めます。周りには山あり、川あり、自然環境に大変恵まれた学校です。

これまで本校では、伝統的に地域に根ざした教育の推進を図ってきました。

本年度も、全校児童28人、教職員9人という小規模校の特性を生かして、保護者とともに地域ぐるみで児童の教育にあたっています。



伊田小学校遠景

教育方針

本校のよき伝統と文化を継承し、地域社会や学校・児童の実態と時代の要請に応じて、

豊かな人間性と確かな学力の育成を基本として生きる力を育み、元気で明るく社会に貢献できる人間の育成を目指し、自己の能力を十分に発揮できる教育を推進する。

学校教育目標

「げんきに、ゆたかに、かしこく」—学ぶ喜びと生きる楽しさを—

目指す児童像

げんきな子（丈夫な体）
ゆたかな子（豊かな心）
かしこい子（賢い頭）

目指す学校像

はつらつと楽しい学校
学ぶ力が身に付く学校
明るく、美しい学校

このような教育方針や教育目標を達成していくための具体的な取り組みの一端を紹介いたします。

体験学習

学校行事、総合的な学習の時間や生活科を活用し、自然体験・生活体験・社会体験など、豊かな体験活動を通して人や自然、社会と関わる学習を仕組み、ふるさとを見つめ、ふるさとを愛する教育活動を実施しています。

● 自然と関わる体験活動

磯遊びや海水浴、滝巡りなど地域の方々の協力を得て行っています。滝巡りでは、川の水質調査をすることにより環境問題についても取り組んでいます。

● 生活と関わる体験活動

勤労生産活動として、稲作り（田植え、草取り、稲刈り、収穫祭）や芋作り（芋差し、草取り、芋掘り、ひがしやま作り）をしています。また、地域の伝統文化に学ぶために花取り踊り（太刀踊り）や子踊りを習い、祭りや運動会で地域の方と一緒に披露します。



稲刈りの様子

● 社会と関わる体験活動

ふれあい活動として、学期に1回のシーサイドホーム訪問、敬老の葉書や年賀

状を出すなど、高齢者との交流を深めています。

また、「高知県統計教育研究指定校」として統計調査に取り組みことを通じて地域の方々とも関わっています。



花取り(太刀)踊りの様子

基本的な生活習慣や学習習慣の育成

健康で望ましい食習慣の習得を目指し、食の教育を広め、「早寝・早起き・朝ごはん」の推進を図っています。

また、発表の仕方など基本的な学習習慣を育成し、学習規律を確立させ、家庭学習の習慣化も図っています。

読書指導の充実

毎日15分間の読書タイムを設定し、本を読むことが好きな児童の育成を図っています。

生活実態調査や力試しのテストなど

それぞれの結果を的確に分析し、今後の指導に生かしています。

授業の質の向上

地域の人や関係機関と連携し、授業の質を高める工夫をしています。

おわりに

今後とも、地域との交流活動をより一層推進し、情報の相互交流を図り、児童の実態について課題を共有して地域ぐるみの教育活動を推進したいと思えます。これからも、学校が地域の核として存在することを大切にします。

学力の向上について

昨年度の到達度把握検査の結果は、全体的に全国平均を上回ります（全国得点率を「1」とすると、国語科1・04、算数科1・08）が、さらなる努力を必要とする部分もあり、より一層の定着・向上を目指して取り組んでいます。

少人数学級や複式学級における効果的な学習指導方法の確立

一人学びの学習指導などを徹底し、読み・書き・計算などの反復継続学習の充実を図っています。